

唐津警察署協議会開催結果の概要

令和 6 年 9 月 4 日

会 議	令和 6 年度 第 1 回唐津警察署協議会
開 催 日 時	令和 6 年 7 月 31 日（水） 15:00 ～ 16:40
開 催 場 所	唐津警察署 会議室
出 席 者	○ 協 議 会：瀬戸会長、本吉副会長、市丸委員、長尾委員、 松尾直美委員、吉野委員、尾崎委員、松尾正委員、 小出委員 (9 人) ○ 警 察 署：辻署長、首藤副署長、杵島刑事官、井上会計官、 北方警務課長、井手留置管理課長、 福地生活安全課長、中村地域第一課長、 熊川地域第二課長代理、多伊良地域第三課長、 古賀刑事第一課長、田口刑事第二課長、 長谷川交通課長、進藤警備課長、警務係長、警務係 (16 人) 計 25 人
議 事 概 要	
1 開会 2 会長挨拶 本日は、暑さ厳しき折、また、お忙しい中、協議会委員の皆様及び警察署長をはじめ警察署幹部職員の皆様におかれましては、協議会にお集まりいただきありがとうございます。 数日前、山形県では記録的な大雨が発生し、救助に向かう際に若くして殉職されましたお二人の警察官に対して、この場をお借りしてご冥福をお祈り申し上げます。 さて、私はこれまでの本協議会の提案が警察署の活動に反映され、住民のための施策が講じられてきたと実感しておりますので、各委員の皆様には積極的に意見を述べられ、要望を出していただくことで、より良い協議会にしたいと思っております。 本日は、どうぞよろしくお願い致します。 3 警察署長挨拶 本年度 1 回目の警察署協議会の開催にあたり、一言御挨拶を申し上げます。 委員の皆様には、大変、御多忙中のところ、御出席いただき誠にありがとうございます。 また、平素から警察行政全般にわたり深い御理解と温かい御支援をいただいておりますことに、この席を借りて深く感謝申し上げます。 管内の治安情勢等につきましては、この後、担当課長が御説明しますが、私は警察署長として取組重点を 3 項目あげておりますので、御説明します。 1 点目は、「確実な初動捜査と組織一体となった検挙活動の推進」です。市民の皆様様の安全・安心を確保するためには、重要な事件の早期検挙・解決が求められ、署員には初動捜査の重要性を認識させ、確実な初動捜査に努めております。	

2点目は、「交通事故、飲酒運転の抑止」です。管内の飲酒運転に絡む交通事故の発生は他署よりも高い状況にあります。交通指導取締りとともに関係機関・自治体等と連携した広報啓発活動を推進することにより、飲酒運転の根絶に向けて取り組んでいるところであり、ひいては交通事故の総量抑止にも繋がると考えております。

3点目は、「ニセ電話詐欺及びSNS利用の投資詐欺等の抑止並びに自転車盗等の街頭犯罪の検挙・抑止」です。詐欺事件については、現在、ニセ電話詐欺に比べてSNS利用による投資詐欺・ロマンス詐欺被害が激増しています。詐欺事件に対して様々な広報啓発活動等を行っているところではありますが、今後はより一層の抑止活動を推進したいと考えております。また、管内では少年による自転車窃盗が度々発生しており、主に無施錠の自転車が被害に遭っていることから防犯広報を強化するとともに、検挙活動を通して非行少年の更生に取組み、重大犯罪の芽を摘み取るようにしたいと考えております。

警察署協議会は、各委員の皆様からの忌憚^{きたん}のない御意見を頂戴することで、有意義なものとなりますので、よろしくお願い致します。

結びに、委員の皆様の益々の御健勝と当署協議会の御発展を祈念しまして、簡単ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。

4 警察幹部及び委員自己紹介

5 議事

(1) 業務概況報告

- | | | |
|---|-----------|---|
| ア | 警察署の概況等 | ～管内情勢 |
| イ | 警務課業務概況等 | ～警察相談、情報発信状況等 |
| ウ | 会計課業務概況等 | ～遺失物業務の取扱状況 |
| エ | 生活安全課業務概況 | ～刑法犯認知件数、少年犯罪発生状況、答申（ニセ電話詐欺被害防止に向けた取組について）への対応状況等 |
| オ | 地域課業務概況 | ～管轄等説明、110番指令状況、各種訓練・広報活動状況 |
| カ | 刑事第一課業務概況 | ～刑法犯の認知・検挙状況、業務概況等 |
| キ | 刑事第二課業務概況 | ～ニセ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の発生状況、組織犯罪対策業務概要 |
| ク | 交通課業務概況 | ～管内の交通事故の発生状況、飲酒運転検挙状況、無免許運転の検挙状況 |
| ケ | 警備課業務概況等 | ～災害警備、テロ対策、要人警護説明 |

(2) 質疑応答

委員：自転車の盗難について質問する。私の息子も高校生の時に盗難の被害に遭った。息子が鍵を掛けなかったのがいけなかったが、警察から学校側に鍵掛けの実施について働き掛け等はするのか。

警察：毎年行われる、学校の担当者会議に出席している。会議は年に何回か行われており、その際に学校の先生に対して、警察の取組内容を説明し、併せて、鍵掛け等を実施するよう生徒への指導について協力を求めている。

委員：万引きについて質問する。万引きをする人が多い年齢層が聞きたい。

警察：手元に資料はないが、生活安全課として対応している限り、高齢者による万引きとともに、少年による万引きは多いと感じる。

小学生は犯罪にはならないが、小中学生がお菓子やスマートフォンの充電器などを盗んだり、コンビニで万引きをするケースも多い。

高齢者によるものとして、惣菜等の万引きなどが多いと思う。

警察：補足説明をすると、年齢別の統計の資料は手元にはないが、刑事第一課で実際に取り扱っている万引き事件の大半は成人事件であると思う。

警察が万引きを認知する経緯としては、以前はいわゆる万引きGメンと言われる人たちが万引きをするのを見つけての届出が多かったと思う。

昨今は、店の方で在庫確認をして商品が不足している場合、その商品が置かれている棚が映っている防犯カメラの映像を見て、さらに前回の在庫確認日に遡って防犯カメラを見て、盗まれていることが分かると、警察にこういう人物が万引きをしていますと通報がなされているように思う。

年齢については、中高年が多い。40、50代、そして、高齢者は多いと思う。

盗られているものとしては、惣菜等も多く、年金暮らしでちょっと贅沢をしたいからということで万引きに手を出し、みつからないからと癖になったり、何回も捕まる人もいる。

男女の別については半々くらいである。

また、最近はセルフレジを導入する店舗が増えており、仕組みとして一人の店員が5～6台のセルフレジを監視している中、その目を盗んで支払いをせず、買い物かごから自分のバッグに直接商品を入れて、店員が見てない隙にそのまま店外に出るケースも多い。

委員：息子がイベントのバイト先でバッグごと盗まれる盗難被害に遭って、その中には運転免許証も入れていた。こういうケースでバッグ等が戻ってくるケースはどのくらいの割合か。

警察：確率を出してはいないが、犯人を捕まえても物自体が残っているケースは多くはないと思う。

運転免許証等の身分証が落とし物として届けられ、それが被害品であるケースもあるが、犯人を捕まえた時点で盗んでいた物をそのまま持っていることは少ない。

委員：高齢の家族に対して交通事故に遭わないように何かアドバイスをするとして、3つくらい教えて欲しい。

警察：まずは、明るい服装と反射材の着用をお願いします。

そして、横断歩道のあるところを渡り、斜め横断は絶対にしないことも重要である。

また、歩道のある道や明るい道を歩くようにする方が良いと思う。

今の時期は暑いので、明け方や夜間に散歩をされるとしても、ゆっくり歩くようにし、早足をしない。そして、ゆっくり歩いても渡れるところで道路を渡ることも重要である。

そして、同じルートを歩くようにした方が良い。家族の方がそのルートを知っていれば、途中で何かあって帰ってこないという時に探す場合、対応がしやすくなる。

家族の方に伝えてもらいたいこととして、車の運転をする場合には原則ハイビームでの運転をお願いします。上向きのライトであれば、歩行者の発見がしやすくなる。

下向きのライト、ロービームで運転されるドライバーが多いが、まめにライトの切り替えをすることで運転の緊張感も保てる。

更には、横断歩道の手前では必ず、アクセルからブレーキの上に足を置き換える習慣付けをしていただきたい。そうすることで、横断歩道周辺の安全確認をしっかりとできるようになるし、止まるべき時に横断歩道手前での停止もスムーズにできるようになる。

委員：私は朝晩、犬を連れて散歩をする習慣がある。その際、横断歩道を渡ろうとしても車がなかなか止まってくれない。昨日はパトカーが横断歩

道手前で停止して、初めて対向車が停止してくれた。

また、散歩をする人は多くいるが、スマートフォンの画面を見ながら散歩をする人も多く、非常に危ないと思う。

私は、会合等でこういう話を説明するつもりだが、警察でも指導をよろしくお願いします。

5 その他

次回開催は、令和6年11月下旬ころに予定

6 閉会

7 その他活動等

協議会終了後、生活安全部主催のニセ電話詐欺、SNS利用による投資詐欺・ロマンス詐欺の防犯講話グランプリの唐津警察署代表者による防犯講話を受講した。